

1-1 日本とその周辺の地震活動（2008年5月～10月）

Seismic Activity in and around Japan (May – October 2008)

気象庁 地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, JMA

今期間、日本とその周辺でM5.0以上の地震は97回、M6.0以上の地震は12回発生した。このうち最大は、2008年6月14日に発生した「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」（M7.2）であった。

2008年5月～10月のM5.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 北海道地方とその周辺の地震活動（本巻「北海道地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2008年9月11日09時20分に十勝沖の深さ31kmでM7.1（最大震度5弱）の地震が発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。11月末までの最大余震は同日9時32分のM5.7の地震（最大震度2）で、活動は順調に減衰している。今回の地震は、「平成15年（2003年）十勝沖地震」（M8.0）から南東に約10km程度離れ、「平成15年（2003年）十勝沖地震」の余震のあまり分布していない場所で発生した。今回の地震により北海道、青森県及び岩手県の太平洋沿岸で津波を観測した。（本巻※1参照）

(2) 東北地方とその周辺の地震活動（本巻「東北地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2008年6月14日08時43分に岩手県内陸南部でM7.2（深さ8km，最大震度6強）の地震「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」が発生した。この地震は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震である。地震活動は本震－余震型で推移している。余震活動は非常に活発であり、2008年11月末までの最大余震は同日09時20分に発生したM5.7（深さ7km，最大震度5弱）である。余震は北北東から南南西に伸びる長さ約45km，幅約15kmの領域で発生している。この地震（M7.2）の発生1～2ヶ月前に、東北地方の地殻内で微小地震活動が活発化していた。（本巻※2，※3参照）

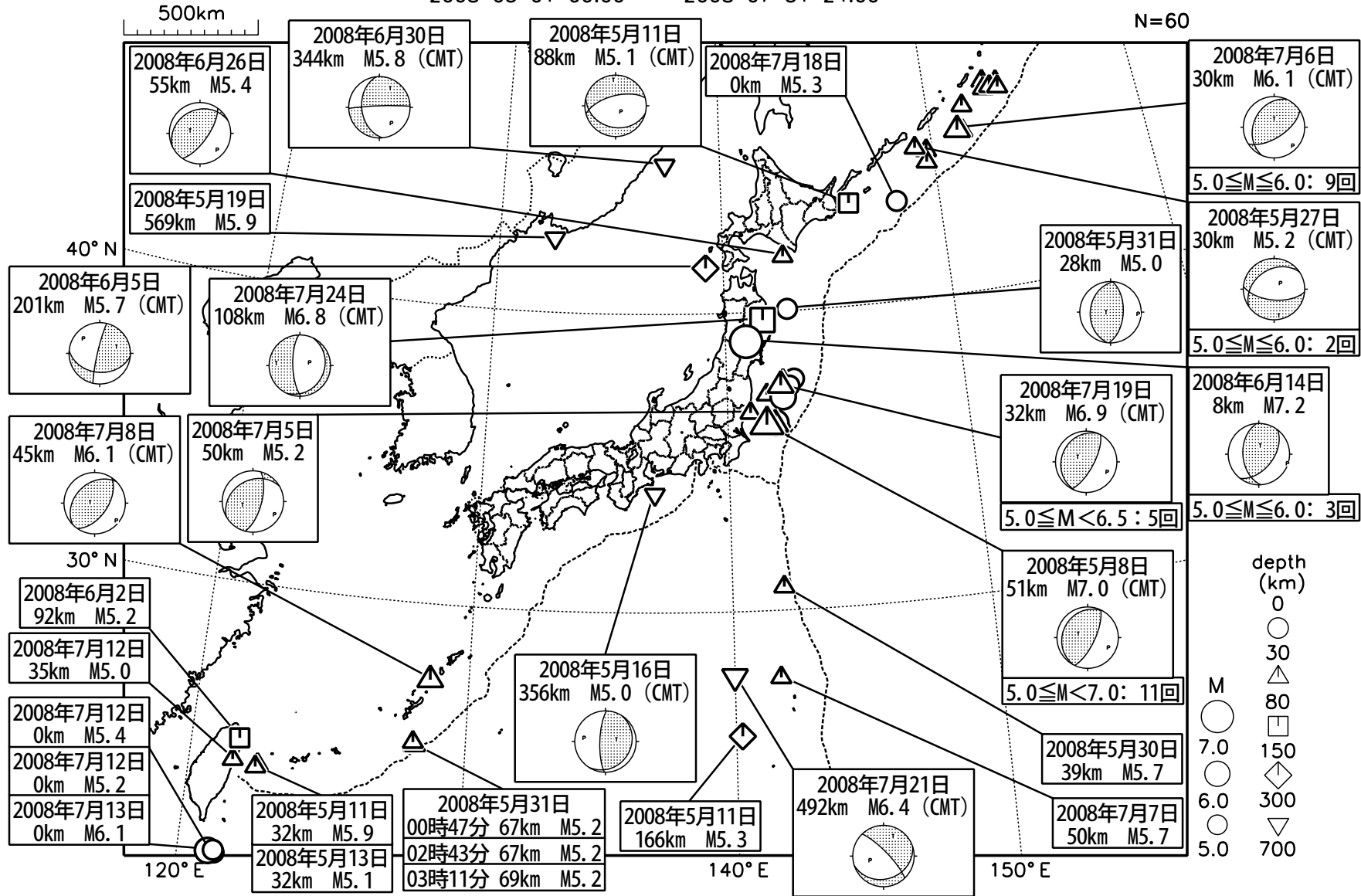
2008年7月19日11時39分に福島県沖でM6.9（深さ32km，最大震度4）の地震が発生した。この地震は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。この地震により、宮城県石巻市鮎川で最大23cm（暫定値）など、東北地方の太平洋側で津波を観測した。この地震の後、7月21日にM6.1（深さ27km，最大震度4）の地震が発生するなど活発な余震活動が見られた。この地震（7月19日）の発生前の2ヶ月間に、周辺ではM3.0以上の地震が全く発生しない状態が続いていた。（本巻※4参照）

2008年7月24日00時26分に岩手県沿岸北部でM6.8（深さ108km，最大震度6弱）の地震が発生した。この地震は太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレートの内部（二重地震面の下面）で発生した地震である。余震活動は低調で、震度1以上を観測した余震は、7月24日11時27分に発生したM4.8（最大震度3）の地震の1回である。（本巻※5参照）

(3) 関東・中部地方とその周辺の地震活動（本巻「関東・中部地方とその周辺の地震活動」の頁参

日本とその周辺の地震活動 (2008年5月~7月, $M \geq 5.0$)

2008 05 01 00:00 -- 2008 07 31 24:00

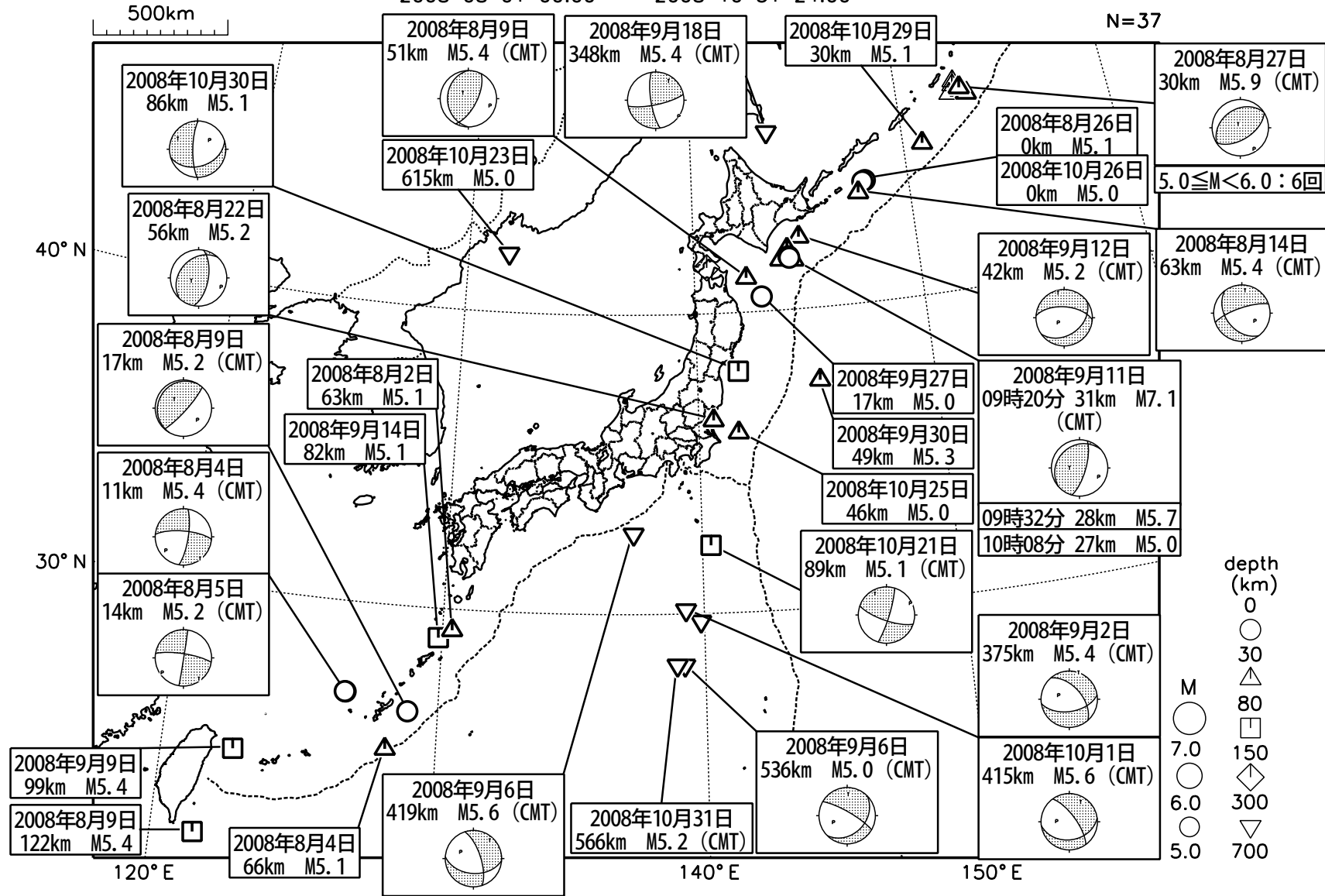


第1図(a) 日本とその周辺の地震活動 (2008年5月~7月, $M \geq 5.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1(a) Seismic activity in and around Japan (May – July 2008, $M \geq 5.0$, depth ≤ 700 km)

日本とその周辺の地震活動 (2008年8月~10月, $M \geq 5.0$)

2008 08 01 00:00 -- 2008 10 31 24:00



第1図(b) つづき (2008年8月~10月, $M \geq 5.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1(b) Continued (August - October 2008, $M \geq 5.0$, depth ≤ 700 km)